



**HIKVISION**

**デジタルビデオレコーダー**

**バージョン 4.0**

**セットアップマニュアル**

## 第1章 背面パネルインターフェイスの説明

背面パネルインターフェイスはモデルによって異なります。背面パネルに共通のインターフェイスの説明は表 1-1 を参照してください。

表1-1 背面パネルの共通インターフェイスの説明

項目	説明	項目	説明
<b>ビデオ入力</b>	Turbo HD とアナログビデオ入力用の BNC インターフェイス	<b>ビデオ出力</b>	ビデオ出力用の BNC コネクター
<b>音声入力</b>	RCA コネクター	<b>音声出力</b>	RCA コネクター
<b>ライン入力</b>	双方向音声入力コネクター	<b>USB インターフェイス</b>	追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス(USB)ポート
<b>VGA</b>	DB15 出力用の DB9 コネクター。ローカルビデオ出力とメニューを表示します。	<b>HDMI</b>	HDMI ビデオ出力コネクター
<b>RS-485 インターフェイス</b>	RS-485 デバイス用のコネクター	<b>RS-232 インターフェイス</b>	RS-232 デバイス用のコネクター
<b>LAN</b>	ネットワーク用コネクター	<b>eSATA</b>	録画またはバックアップ用のストレージと拡張インターフェイス
<b>アラーム入力/出力</b>	アラーム入力/出力用コネクター	<b>GND</b>	接地
<b>電源スイッチ</b>	デバイスをオン/オフするためのスイッチ	<b>電源</b>	モデルに応じて 100~240 VAC、48 VDC、または 12 VDC

## 第2章 設置と接続

### 2.1 DVR の設置

DVR の設置時：

- ラックマウントにはブラケットを使用します。
- 音声ケーブルとビデオケーブル用に十分なスペースを確保します。
- ケーブルを配線するときは、ケーブルの曲げ半径が直径の 5 倍以上であることを確認してください。
- アラームケーブルを接続します。
- ラックマウントデバイスとの間に最低 2cm (0.75 インチ) の隙間を確保してください。
- DVR が接地されていることを確認します。
- 環境温度範囲は-10~+55°C (14~131° F) 内でなければなりません。
- 環境湿度は 10%~90%内でなければなりません。

### 2.2 HDD の設置

#### 開始前

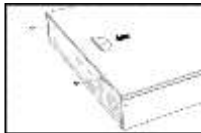
ハードディスクドライブ(HDD)を取り付ける前に、デバイスの電源がオフになっていることを確認してください。設置には、メーカー推奨の HDD を使用してください。

**必要な工具：**プラスのドライバー。

#### 2.2.1 ブラケットの取り付け

ブラケットの取り付けは、デバイスのカバーを取り外し、HDD を内蔵ブラケットに取り付ける必要がある場合に適用されます。

手順1-1 背面のネジを緩め、カバーを後方に押して、デバイスからカバーを取り外します。



手順1-2 HDD をブラケットにネジで固定します。



手順1-3 データケーブルと電源ケーブルを接続します。

- 1) データケーブルの片端をデバイスのマザーボードに接続します。
- 2) データケーブルの他端を HDD に接続します。
- 3) 電源ケーブルを HDD に接続します。



**NOTE**  
HDD を下部のブラケットに取り付ける場合は、先に上部のブラケットを取り外します。



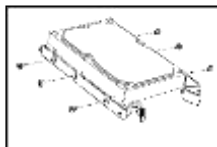
手順1-4 (オプション) 他のHDDを取り付けるには、上記の手順を繰り返します。

手順1-5 デバイスのカバーを取り付け直し、ネジで締めます。

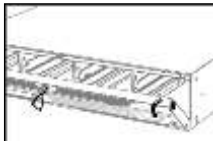
## 2.2.2 フロントパネル抜き差し設置

フロントパネル抜き差し設置は、キーを使用してデバイスのフロントパネルを開き、HDDを設置する必要がある場合に適用されます。

手順1-1 HDDにネジで取り付け金具を固定します。



手順1-2 付属のキーでフロントパネルのロックを解除し、フロントパネルの両側にあるボタンを押して開きます。



手順1-3 しっかりと固定されるまでHDDを挿入します。



手順1-4 (オプション) 他のHDDを取り付けるには、上記の手順を繰り返します。

手順1-5 フロントパネルを閉じ、キーでロックします。

## 2.2.3 底部設置

底部設置は、HDDをデバイスの底部に設置および固定する場合に適用されます。

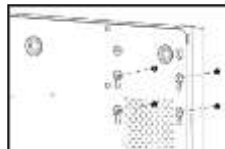
手順1-1 パネルのネジを緩め、デバイスからカバーを外します。



手順1-2 データケーブルと電源ケーブルを接続します。

- 2) データケーブルの他端をHDDに接続します。
- 3) 電源ケーブルの片端をHDDに接続します。
- 4) 電源ケーブルの他端をデバイスのマザーボードに接続します。

手順1-3 デバイスを設定し、HDDのネジ山をデバイスの底部にある穴に合わせ、HDDをネジで留めます。



- 1) データケーブルの片端をデバイスのマザーボードに接続します。



手順1-4 (オプション) 他のHDDを取り付けるには、上記の手順を繰り返します。

手順1-5 デバイスのカバーを取り付け直し、ネジで締めます。

## 2.3 RS-485 とコントローラーの接続

PTZをDVRに接続するには：

- 手順1-1 RS-485端子台からプラグ可能ブロックを外します。  
 手順1-2 プラグ可能ブロックのオレンジ色部分を押しのまま、信号ケーブルをスロットに差し込み、オレンジ色の部分を離します。信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

手順1-3 PTZのA+を端子台のD+、コントローラーのB-を端子台のD-に接続します。止めネジを締めます。

手順1-4 プラグ可能ブロックを端子台に接続し直します。

一般的な接続：

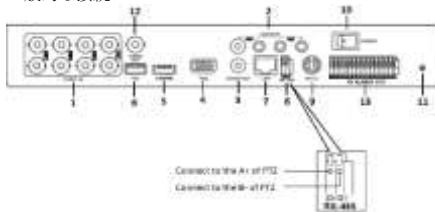


図1-1 コントローラーの接続A



NOTE

コントローラーとDVRの両方が接地されていることを確認します。

## 第3章 メニュー操作

### 3.1 起動

DVR の寿命を延ばすには、正しい起動が重要です。  
電源がコンセントに接続されていることを確認します。

装置には無停電電源装置(UPS)を併用することを強く推奨します。フロントパネルの電源ボタンが赤色点灯していれば、デバイスに電力が供給されていることを示します。

フロントパネルの電源ボタンを押します。

電源 LED が青色に変わります。ユニットが起動します。

### 3.2 デバイスの有効化

#### 目的

初回アクセス時には、管理パスワードを設定してデバイスをアクティベーションする必要があります。アクティベート前の操作はできません。Web ブラウザー、SADP、またはクライアントソフトウェアを介してデバイスを有効化できます。

管理パスワードを 2 回入力します。

デバイスに接続されている IP カメラを有効にするためのパスワードを入力します。

オプションで、将来のパスワードリセットに備えて、**[GUID のエクスポート]**、**[秘密の質問の設定]**、または**[予約済み E メール設定]**を選択します。

**[OK]**をクリックすると、パスワードを保存して、デバイスをアクティベートします。

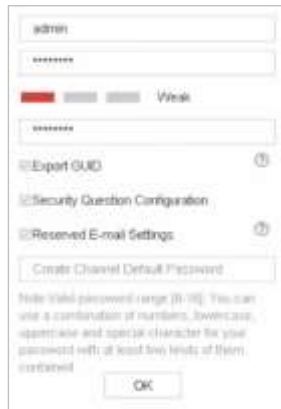


図1-2 管理パスワードの設定



#### WARNING

**強いパスワードの推奨** 製品のセキュリティを高めるために、自分で選んだ強いパスワード（大文字と小文字、数字、特殊文字の 3 種類を必ず含む 8 文字以上）を作成することを推奨します。そして、特にセキュリティの高いシステムでは、パスワードを定期的のリセットすることをお勧めします。毎月または毎週パスワードをリセットすると、製品をより安全に保護できます。

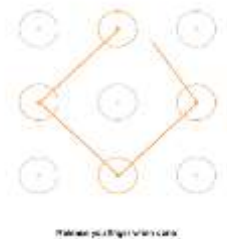
### 3.3 ログインにロック解除パターンを使用する

#### 目的

管理ユーザーは、デバイスログインのロック解除パターンを設定できます。デバイスを有効にした後、デバイスロック解除パターンを設定できます。

マウスを使って、画面の9つの点の中にパターンを描きます。パターンが完成したら、マウスを放します。

Call Menu Feature



Playback Login/View Card

図1-3 パターン描画

#### NOTE

- パターンを描画するには、最低4点を接続します。
- 各ドットは1回だけ接続できます。確認のため、もう一度同じパターンを描きます。2つのパターンが一致すれば、パターンは正常に設定されています。将来のログイン用に、設定したロック解除パターンを使用できます。

### 3.4 ユーザーログイン

#### 目的

DVR からログアウトしている場合、メニューおよびその他機能进行操作する前にデバイスにログインが必要です。

[ユーザー名]を選択します。

パスワードを入力します。

[OK]をクリックしてログインします。

#### NOTE

管理者がパスワードを7回誤って入力すると、アカウントは60秒間ロックされます。オペレーターがパスワードを5回誤って入力すると、アカウントは60秒間ロックされます。



図1-4 ログイン

## 3.5 ユーザーログアウト、シャットダウン、再起動

### 目的

システムからログアウト、シャットダウン、デバイスの再起動ができます。

メニューバーの  をクリックします。

**[ログアウト]**、**[シャットダウン]**、または**[再起動]**をクリックします。


### NOTE

システムからログアウトした後は、画面上のメニュー操作は無効になります。システムのロック解除にはユーザー名とパスワードが必要です。

## 3.6 信号入力の設定

### 目的

一部のモデルでは、アナログと IP 信号入力タイプおよび 5 MP 長距離伝送を設定できます。それ以外のモデルでは、アナログ信号入力 (Turbo HD、AHD、HDCVI、CVBS) と IP 信号入力を自動認識して接続できます。


メインメニューバーの  をクリックします。

**[カメラ]** > **[アナログ]** をクリックします。

### NOTE

信号入力ステータスインターフェイスはモデルによって異なります。

次の異なる信号入力タイプを選択してください。HD/CVBS と IP。

 をクリックします。

5 MP 長距離伝送を有効にするには、チャンネルを選択します。  
設定を保存します。



図1-5 信号入力ステータス



図1-6 5 MP 長距離伝送設定



## 3.7 IP カメラの追加

### 目的

ライブビデオを取得する、またはビデオを録画する前に、ネットワークカメラをデバイスの接続リストに追加します。

### 開始前

ネットワーク接続が有効で正しく、追加する IP カメラがすでに有効になっていることを確認してください。無効な IP カメラの有効化については、ユーザーマニュアルを参照してください。


メインメニューバーの  をクリックします。  
 タイトルバーの **[カスタム追加]** をクリックします。  
 追加する IP カメラの IP アドレス、プロトコル、管理ポート、その他の情報を入力します。  
 IP カメラのログインユーザー名とパスワードを入力します。  
**[追加]** をクリックします。



図1-7 IP カメラの追加

## 3.8 PoC カメラの接続

### 開始前

- デバイスが PoC (Power over Coaxitron) カメラ接続をサポートしていることを確認してください。
- PoC カメラを DVR に接続します。

### 目的

一部のモデルは PoC (Power over Coaxitron) カメラ接続をサポートしています。DVR は接続された PoC カメラを自動的に検出し、同軸通信を介して消費電力を管理し、同軸通信を介してカメラに電力を供給します。

**[カメラ] > [カメラ] > [PoC ステータス]**に進みます。

必要に応じて、チャンネルの PoC をオンにします。

接続された PoC カメラの状態を確認します。

- DVR の消費電力が AF カメラよりも小さい場合で、AF または AT カメラが接続されている場合、ビデオが表示されず、ライブビュー映像に「PoC の電力が不足しています」と表示されます。

## デジタルビデオレコーダークイックスタートガイド

- DVR の消費電力が AF カメラよりも大きいかつ AT カメラより小さい場合で、AF カメラが接続されている場合、電力は正常です。AT カメラが接続され、電源がオンの後でオフになる場合、ビデオが表示されず、ライブビュー映像に「PoC の電力が不足しています」と表示されます。
- DVR の消費電力が AT カメラよりも大きい場合で、AF または AT カメラが接続されている場合、電力は正常です。

接続されている AF または AT のカメラ番号と、接続可能なカメラ番号を確認してください。



- Hikvision PoC カメラのみサポートしています。
- 接続可能な AT/AF カメラの最大数はモデルによって異なります。



### WARNING

カメラが PoC をサポートしていない場合、またはカメラが Hikvision 製ではない場合は、PoC 機能をオフにしてください。さもないと、カメラまたは DVR に永久的な損傷が生じることがあります。

## 3.9 ネットワーク設定

### 3.9.1 一般設定

#### 目的

ネットワーク経由で DVR を操作する前に、ネットワーク設定を正しく構成する必要があります。

[システム]>[ネットワーク]>

[TCP/IP]に進みます。

[一般設定]インターフェイスでは、次の設定を構成できます。NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU、DNS サーバー。設定を保存します。



図1-8 ネットワーク設定

### 3.9.2 Hik-Connect の設定

#### 目的

Hik-Connect は接続されたデバイスにアクセスして、管理するための携帯電話アプリケーションとプラットフォームサービスを提供します。これは監視システムへの便利なりモートアクセスが可能になります。

[システム]>[ネットワーク]>[詳細]>[プラットフォームアクセス]に進みます。

[有効にする]を選択して、機能を有効化します。その後、利用規約がポップアップ表示されます。

- 1) **[認証コード]**に認証コードを入力します。
- 2) QR コードをスキャンして、利用規約とプライバシー声明をお読みください。
- 3) **Hik-Connect** サービスの確認は、インターネットアクセスが必要です。利用規約とプライバシー声明に同意する場合には、サービスを有効にする前に、利用規約とプライバシー声明をお読みください。
- 4) **[OK]**をクリックして、設定を保存します。

**NOTE**

- Hik-Connect はデフォルトで無効になっています。

- 認証コードはデフォルトで空です。認証コードは 6～12 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。

(オプション) 必要に応じてサーバーアドレスを入力するには、**[カスタム]**を選択します。

(オプション) **[ストリーム暗号化を有効にする]**を選択します。認証コードはリモートアクセスとライブビューに必要です。

(オプション) デバイスが現在の Hik-Connect アカウントとのバインドを解除する必要がある場合は、**[バインド解除]**をクリックします。


**[適用]**をクリックします。

**次にすること：**

設定後は、Hik-Connect アプリまたは Web サイトからデバイスにアクセスして管理できます。

## 3.10 ライブビュー




ライブビューモードを開きます (  )。

- ウィンドウを選択して、リストからカメラをダブルクリックすると、選択したウィンドウでカメラからビデオを再生できます。
- 再生ウィンドウ下部のツールバーを使用して、キャプチャー、簡易再生、オーディオのオン/オフ、デジタルズーム、ライブビュー画面構成、情報の表示、録画の開始/停止ができます。

## 3.11 録画設定

### 開始前

ディスクがすでに設置されていることを確認します。そうでない場合には、ディスクをインストールおよび初期化してください。詳細情報についてはユーザーマニュアルを参照してください。

ライブビューモードで、接続されているカメラウィンドウを選択し、ツールバーの  をクリックして録画を開始します。

## 3.12 再生

### 目的

ハードディスクに記録されたビデオファイルと画像は、簡易再生、指定チャンネルの終日再生、通常/イベント/スマート/タグ/システムログ/時間差/外部ファイル検索/画像で再生可能です。

再生モード (  ) を開きます。  
リスト内のチャンネルを確認しま  
す。

カレンダーの日付をダブルクリッ  
クして選択します。

再生インターフェイスの下部にあ  
るツールバーを使用して、再生の  
進捗を制御できます。



図1-9 再生

## 第4章 Web ブラウザーによるアクセス

### 目的

Web ブラウザーを介してデバイスにアクセスできます。次のいずれかの Web ブラウザーを使用できます。Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 10.0。サポート解像度は 1024\*768 以上です。

Web ブラウザーを開き、デバイスの IP アドレスを入力して、Enter を押します。  
デバイスにログインする。

- デバイスが有効になっていない場合、最初に管理ユーザーアカウントのパスワードを設定して、デバイスを有効にする必要があります。
- デバイスがアクティベート済みの場合には、ログインインターフェイスにユーザー名とパスワードを入力して、**[ログイン]**をクリックします。ライブ映像を見る前にプラグインをインストールして、カメラを管理します。インストールプロンプトに従って、プラグインをインストールします。

### NOTE

- プラグインのインストールを完了するには、Web ブラウザーを閉じる必要があります。
- ログイン後、ライブビュー、再生、ログ検索、設定など、デバイスの操作と設定を実行できます。



図1-10 デバイスのアクティベート



図1-11 ログイン